

# 令和4年度までに「社会人採用」により採用された職員へのインタビュー

## 問1 採用前の労働局（監督署・ハローワークを含む。以下、労働局）のイメージと採用後の労働局についてのイメージの違いはありますか。

### 【共通事務官】

- ・法令に基づく公的なサービスを提供することから、漠然と堅い印象を持っていたが、より良いサービスを提供するために、職員自身の工夫やアイデアがサービスの質や職場環境に反映される部分もあり、意外だった。
- ・以前ハローワークを利用したときは混雑しているイメージだったが、電子申請やハローワークインターネットサービスの普及による変化もあってか、来所者の数が思ったより少ないと感じた。
- ・公務員として、定型的な仕事をするイメージだったが、担当者の創意工夫を活かせる環境であったこと。

### 【基準事務官】

- ・監督署は労災業務という固定概念があったが、実際業務に携わることで、他にも安全衛生業務や労働に関する相談を始め、考えていたよりも非常に幅広い業務があることがわかった。
- ・採用前は、監督署は企業を取り締まるイメージが強く、「労働局」というだけで、「厳しい機関・背筋がピンとする」といった印象があった。実際には、職員は利用者に限らず、新人や同僚へもすごく丁寧に対応しており労働局は「困ったときに頼りになる存在」というイメージに変わった。

## 問2 今の仕事のやりがいや達成感、楽しい部分を教えてください。

### 【共通事務官】

- ・長い間、職業相談を担当していた方が採用されたときは達成感があり、中には採用が決まったことを報告に来てくださる方もいらっしゃるのと一緒に喜ぶことができる。また、地域の様々な企業・職業について知ることができる部分もおもしろいと感じている。
- ・紹介状を交付した求職者の方の採用が決まった時。
- ・労働行政は全く初めての分野だったが、研修が充実していて、部署の職員がどの方も熱心に教えてくれるので、新しいことを学ぶ・吸収することが毎日楽しく感じている。また、所属部署では、他分野の業務経験を踏まえた私の考え方や仕事の仕方を取り入れるなど柔軟に受け入れてもらっている。社会人採用ということで、年齢的にはチームをまとめる立場にもなるが、これまでの経験値を發揮できる部分にやりがいを感じている。
- ・求職者の方が希望に沿った仕事に就くことができた時、事業主の方から採用後にいい人を紹介してもらえたと言っただいたときにやりがいを感じている。

### 【基準事務官】

- ・会計に関する業務では、大きな金額や個人情報を取り扱ったりするためミスや取扱いには気を遣うが、その分責任感ややりがいを感じている。
- ・一つの案件が完結していくことに達成感を感じている。また、定期的な異動で新たな仕事や人との出会いを楽しみにしています。

### 問3 労働局に入って大変な部分や不満を感じたことがあれば教えてください。

#### 【共通事務官】

- ・年間で仕事の波があるので繁忙期は大変。
- ・必要とする知識と技能が幅広いこと。
- ・新しい分野の知識を吸収するにあたり、一からの勉強となるため、労働基準法をはじめ保険関係の学習は大変な部分もある。

#### 【基準事務官】

- ・それぞれの業務に専用のシステムがあるため、慣れるまでは操作が大変だった。
- ・幅広い分野における知識が必要であること。

### 問4 労働局に入って「思っていたのと違うなあ」と感じたことがあれば教えてください。

- ・思っていたより職場の雰囲気や和やかで、いい意味で想像とは違った。
- ・職員が本当に親切で、普段から丁寧に接してくれるところ。